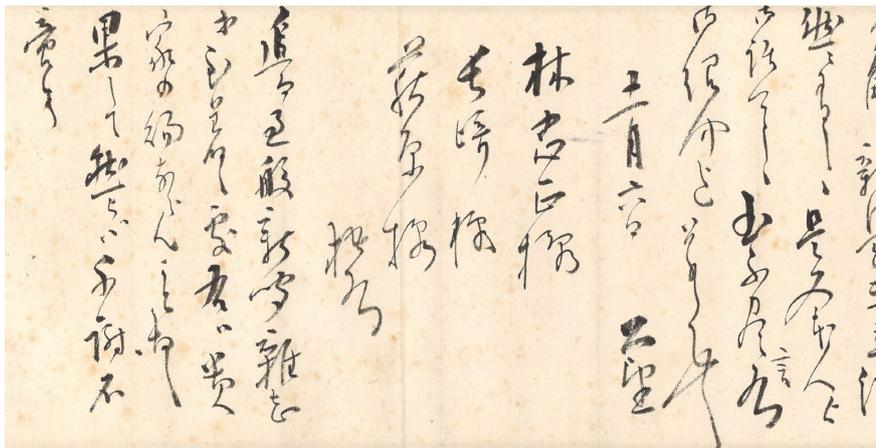
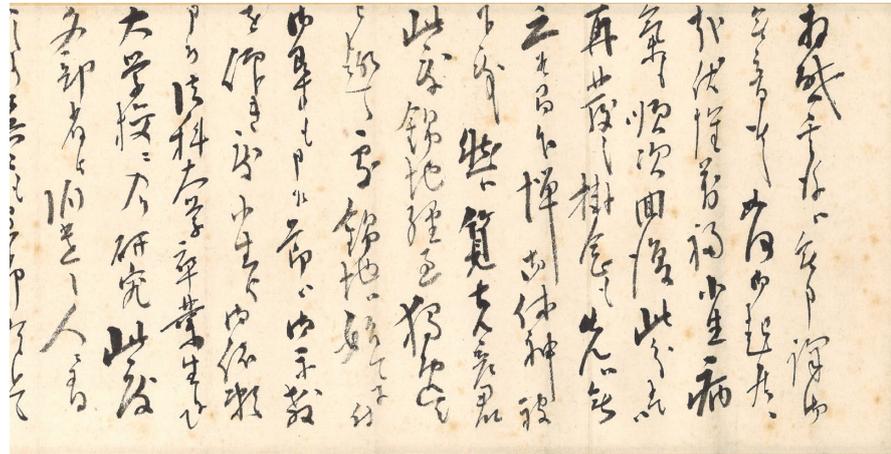


博物館だより



さいおん じ きんもち
西園寺公望書簡(林忠正三兄弟宛) (部分)

明治31年(1898)11月6日付、当館蔵



利長くん

明治後期から大正期に首相を2度務めた「最後の元老」こと西園寺公望(1849~1940)の書簡。宛先は高岡出身でパリを拠点に活躍した美術商・林忠正(1853~1906)と二人の弟(長崎千里・萩原正倫)である。内容は東京帝大法科大学を卒業した憲法学者・笈克彦がドイツに留学する際にパリを経由するので、案内を依頼した紹介状である。

忠正はパリに10年間の留学経験のある西園寺と親しかった。この書簡の前年、渡仏中の西園寺と林三兄弟が揃った写真も残る。さらに同年、西園寺が盲腸にかかった際、三兄弟が看護し、特に医師の長崎千里は手術せずに治療し、南仏への療養にも随行したこともあった。本書簡はそれをうけて、「私の病気は順次回復しており、この分では再発の懸念もまずは無いと思いますので、ご安心ください」(意訳)とある。

また「わが国の政府も又々瓦解し、新内閣が成立しました」、「先頃、新聞・雑誌等が到着しました。これは貴方の編集ではないでしょうか」などともあり、彼らの親密さがうかがえる。

本資料は忠正が渡仏邦人の「窓口」的役割を果たしていたことや、西園寺と濃密な関係をもった林忠正、及び二人の弟との関わりの一端を示すものである。

【2026年7月25日(土)~10月4日(日) 林忠正没後120年記念 特別展「林忠正書簡展」を開催予定】

令和7年度の高岡市立博物館

◆常設展 「高岡ものがたり ー楽しく知ろう！ひらめき・ミュージアムー」

本展では、高岡市の歴史・民俗・伝統産業等について、適宜展示を充実させながら分かりやすく紹介しています。また高峰譲吉別荘「松楓殿」関係資料展示室（新館第3企画展示室）も通年で開催しています。

【お宝コーナー】

今年度、本展示コーナーでは4つのミニ展示を行いました。「市出身記者が見た2・26事件」（会期：4/12～6/15）では、現高岡市福岡町出身で当時東京朝日新聞記者の大野伊吉氏が「2・26事件」（昭和11年）の直後にその詳細を父に伝えた新発見の書簡を展示・紹介しました。「高岡市五長老筆跡」（会期：6/28～8/31）では、高岡市の理容業で社会活動にも尽力した齋藤文治氏が昭和30年に製作した市内の名士5名（荒井建三・6代木津太郎平、7代菅野伝右衛門・南慎一郎・四津谷道雲）による書を展示・紹介しました。「戦後80年 陸軍歩兵伍長・佐野正吉氏関係資料」（会期：9/27～11/30）では、2025年が終戦から80年の節目の年にあたることから、本市百姓町（現千石町）出身の陸軍歩兵伍長・佐野正吉氏に関わる戦時下資料（計17件19点）を展示・紹介しました。現在開催中の「国泰寺のお宝③ 初公開の古文書」（会期：R8.1/10～3/15）では、本市太田の古刹・国泰寺（臨済宗国泰寺派大本山）が所蔵する古文書の中から、6点の初公開史料を厳選して展示・紹介しています。



「高岡市五長老筆跡」
(6/28～8/31)



「戦後80年 陸軍歩兵伍長・佐野正吉氏関係資料」
(9/27～11/30)



「国泰寺のお宝③ 初公開の古文書」
(R8.1/10～3/15)

◆企画展 その他の事業

館蔵品展「昔の道具とくらし」（会期：4/1～7/6）では、当館が収蔵する衣・食・住などの古い生活道具類「民具」を展示したほか「被災資料（文化財）レスキュー展」を併設し、2024年元日の能登半島地震以来の当館の取り組みの成果の一部を展示・紹介しました。高岡古城公園指定150周年・国史跡指定10周年記念 特別展「高岡古城公園の150年」（会期：7/26～10/5）では、当館収蔵の高岡古城公園関係の絵図・地図を中心に展示したほか、遷座150周年を迎える射水神社所蔵の貴重な社宝もあわせて展示・紹介しました。企画展「救い出された資料たち」（会期：11/22～R8.1/12）では、令和6年能登半島地震以来、当館で行ってきた被災資料レスキュー（計17件）における取り組みの成果の一部を展示・紹介しました。現在は館蔵品展「昔の道具とくらし」（R8.2/7～）を開催中です（次年度7/5まで開催予定）。

講演・講習会では、郷土高岡に関わる様々な話題について各研究者よりご紹介いただく郷土学習講座（全4講。5/31、6/28、11/29、R8.1/31）や特別展講演会（9/27）、伝統産業講習会（11/8）、古文書講座（9～11月。全6講）などを行いました。そのほか、当館学芸員が小・中学生向けの自由研究・調べ学習をサポートする「教えて！学芸員」（8/1～8/31）、桜の開花時期にあわせた屋上開放「古城公園展望台」（4/4～6、4/8～9）、を開催するなど、今年度も多くの方々に博物館へご来館いただきました。



郷土学習講座「前田利長の生涯と越中の真宗」
(塩崎久代氏。6/28)



特別展「高岡古城公園の150年」
(7/26～10/5)



伝統産業講習会
「菅笠の伝統と未来について」（11/8）

新収蔵資料紹介（令和8年1月31日現在）

・購入（19件187点。購入順）

No.	資料名称	点数
1	年未詳9月24日付西本願寺13世光円書状（前田利常宛）	1
2～4	伏木町古国府龍善寺山名智隠「数え歌」、『小学高等課習字本 三体千字文』上下巻、年未詳3月27日付東本願寺13世宣如消息	4
5～13	「第1回家庭用塵紙配給ニ関スル件」、『越中円満寺靈暍師法話』、高岡公園関係絵葉書など	9
14	服部南郭(元喬)書	1
15～18	「大高岡市都市計画全図／伏木港」、高岡関係絵葉書など	14
19	高岡町附足軽・金子家文書	158

・寄贈（37件11,454点。受入順。一括資料は仮に100点と計上。うち被災資料レスキュー対応件数8件（未登録1件含む）

No.	被災資料 レスキュー	資料名称	点数	寄贈者
1	①	高岡市伏木・秋元家資料（ねつの薬局）	（一括）	秋元保之氏
2		映画パンフレット・チラシ類（高岡・富山）	19	境恭子氏
3	②	高岡市伏木・棚田家文書	約10,000	棚田梓氏
4		射水郡長慶寺村 地券	5	橘征夫氏
5～6		徳富蘇峰書簡（廣瀬喜太郎宛）、堀川敬周筆《紙本墨画淡彩七賢人図》	2	小竹大地氏
7		「加賀相公様御巡見ニ付御案内帳」	1	高木正則氏
8	③	伏木廻漕業・一宮半助商店法被	4	匿名希望
9～10	④	一番街通御車山源平町記念写真など	2	加納亮介氏
11		戦艦献納愛国運動の趣旨に賛同し海軍省に香炉作品寄付につき感謝状	1	不明
12		〔慶長15年〕後2月12日付徳川秀忠書状（前田利長宛）	1	匿名希望
13～14		木彫天神座像、天神画像	12	越中総鎮守一宮射水神社
15～16		高岡市末広町料理旅館・宮野梅松園関係資料、前田利常書状	21	宮野耕治氏
17		漆芸家・彼谷芳水関係資料	（一括）	菊地静子氏
18		『新撰画引字書大全』（野島守真編、高岡市 学海堂発行、明治28年）	1	金田誠治氏
19	⑤	高岡市伏木・蜂谷家資料	45	蜂谷春雄氏
20		砺波郡三清村十村・武部家文書（帳簿類）	23	安丸定昭氏
21～22		彫刻家・関長造関係資料、関長造作《乾漆「羊」》	（一括）	桜井則子氏
23～24	⑥	高岡市千石町・早瀬家資料、短刀「銘 友次」（宇多）	（一括）	早瀬和美氏
25	⑦	高岡市伏木中央町・谷村家資料	（一括）	匿名希望
26		高岡市新横町・堀部家文書	（一括）	堀部家
27		二上山養老寺文書写本	1	長森邦佳氏
28		高岡市通町・河村家資料	（一括）	河村宗弘氏
29		高岡市 中川原町母衣祭礼用具	（一括）	中川原町自治会
30		高岡市 下川原町大旗等母衣祭礼用具	（一括）	下川原町三町
31		高岡市内古写真（①四屋地内、②千木屋町の共同便所）	2	花野孝義氏
32		陸軍工兵上等兵・浦山外次郎氏関係資料	11	匿名希望
33		高岡鋳物関係文書（鋳物師職許状、真継家史料など）	（一括）	竹中伸行氏
34		高岡市木舟町・塩崎家文書	（一括）	塩崎利平氏
35		プラスチック漆器	（一括）	中村喜進氏
36		マッチ箱ラベル（高岡市内など）	（一括）	内田巖氏
37		高岡末広町地引絵図	1	小竹源紀氏

※購入・寄贈資料の詳細は、『高岡市立博物館年報 第40号』を参照してください。

資料ご寄贈のお願い

当館では、日頃から絵図・地図、古文書、絵葉書や古写真などの「歴史資料」、古い生活道具や農具などの「民具」や銅漆器など高岡の伝統産業等に関わる資料を収集しています。これらの資料は後世に歴史や生活文化等を伝える貴重な「文化遺産」です。お持ちの方はぜひご寄贈いただきたくお願い申し上げます（高岡関係の資料に限らせていただきます）。

高岡市立博物館 スケジュール(予定) 2026年4月～2027年3月

イベントスケジュール	
展示	イベント・講座
4/1 常設展「高岡ものがたり 楽しく知ろう！ひらめき・ミュージアム」(通年開催)	
4/1 高岡講座「昔の道具とくらし」	
4/1 常設展「高岡ものがたり 楽しく知ろう！ひらめき・ミュージアム」(通年開催)	
5月	5/2 郷土学習講座「伏木の歴史と文化～伏木曳山祭りを中心に～」
6月	6/13 伝統産業講習会「マジでババくない!? 彫金の伝統とミライ(仮)」
7月	7/5 特別展「林忠正没後120年記念 特別展「林忠正書簡展」展示説明会①
8月	8/29 林忠正没後120年記念 特別展「林忠正書簡展」展示説明会②
9月	9/5 特別展講演会「書簡にみる忠正」 9/11 古文書講座「初めての古文書教室」① 9/25 古文書講座「初めての古文書教室」②
10月	10/3 林忠正没後120年記念 特別展「林忠正書簡展」展示説明会③ 10/9 古文書講座「初めての古文書教室」③ 10/23 古文書講座「初めての古文書教室」④
11月	11/7 郷土学習講座「前田治脩の人物像(仮)」 11/13 古文書講座「初めての古文書教室」⑤ 11/27 古文書講座「初めての古文書教室」⑥
12月	12/19 郷土学習講座「高岡城を中心とした前田氏城郭について -滋賀・福井・石川・富山の前田氏城郭-(仮)」
1月	
2月	2/6 館蔵品展「昔の道具とくらし」展示説明会①
3月	3/6 館蔵品展「昔の道具とくらし」展示説明会②

＜当館イベントに参加される方へ＞
・上記イベントの日程や内容は変更となる場合があります。最新情報については当館ホームページやSNS等をご確認ください。

※上記の他に親しむ会イベントも開催予定 (HP等を参照)

◆令和8年度 郷土学習講座 (全3講)

郷土高岡に関わるさまざまな話題について紹介いただく連続講座を開催します。

◇演題: 「伏木の歴史と文化 ～伏木曳山祭りを中心に～」

講師: 野口 安嗣 氏 (伏木曳山祭実行委員会研究部会)

日程: 5月2日(土) [申込受付: 4月11日(土)午前9時より]

◇演題: 「前田治脩の人物像 (仮)」

講師: 小西 昌志 氏 (金沢市立玉川図書館近世史料係主任)

日程: 11月7日(土) [申込受付: 10月17日(土)午前9時より]

◇演題: 「高岡城を中心とした前田氏城郭について

- 滋賀・福井・石川・富山の前田氏城郭-(仮)

講師: 佐伯 哲也 氏 (北陸城郭研究会会長)

日程: 12月19日(土) [申込受付: 11月28日(土)午前9時より]

いずれも、

・時 間: 午後2時～3時30分

・会 場: 当館新館3階講堂

・定 員: 60名 (先着順・要申込)

・受講料: 500円 (当館親しむ会会員は300円)

・申込方法: 電話・FAX・メールいずれかの方法で、住所・氏名・電話番号・親しむ会入会の有無をお知らせのうえ、お申し込みください。

※講師の肩書は、令和8年2月現在のものです。

◆令和8年度 古文書講座「初めての古文書教室」(全6講)

古文書は貴重な歴史の証言者です。郷土の歴史を再発見してみませんか? 今年度も、古文書解説初心者の方を対象とした古文書教室を開催します。

・日 程

[第1講] 9月11日(金) [第4講] 10月23日(金)

[第2講] 9月25日(金) [第5講] 11月13日(金)

[第3講] 10月 9日(金) [第6講] 11月27日(金)

・時 間: 午後2時～3時30分

・講 師: 仁ヶ竹 亮介 (当館主幹)

・会 場: 当館新館3階講堂

・定 員: 60名 (先着順・要申込)

・受講料: 1,800円 (当館親しむ会会員は1,500円)

・申込受付: 8月14日(金)午前9時より開始(定員に達し次第締切)

・申込方法: 電話・FAX・メールいずれかの方法で、住所・氏名・電話番号・親しむ会入会の有無をお知らせのうえ、お申し込みください。



◆林忠正没後120年記念 特別展「林忠正書簡展」

現高岡市一番町出身の美術商・林忠正(1853～1906)は、長年パリで画商として活躍し、ヨーロッパに浮世絵などの日本美術を紹介するなど、東西美術交流に多大な貢献を果たした人物です。令和8年(2026)は林忠正の没後120年となる節目の年にあたります。本展では林忠正が残した書簡などを中心に展示・紹介します。

・会 期: 7月25日(土)～10月4日(日)

・会 場: 当館新館企画展示室

・入館料: 無料

◇会期中のイベント

①講演会

・演 題 「書簡にみる忠正」

・講 師: 仁ヶ竹 亮介 (当館主幹)

・日 時: 9月5日(土) 午後2時～3時30分

・会 場: 当館新館3階講堂

・定 員: 60名 (先着順・要申込)

・受講料: 500円

(当館親しむ会会員は300円)

・申込受付: 8月15日(土)午前9時より開始(定員に達し次第締切)

・申込方法: 電話・FAX・メールいずれかの方法で、住所・氏名・電話番号・親しむ会入会の有無をお知らせのうえ、お申し込みください。

②展示説明会 (全3回)

・日 時: 7月25日(土)、8月29日(土)、10月3日(土)

各日午後2時～2時30分

・受講料: 無料



林忠正肖像(個人蔵)

— 開館時間 —
午前9時～午後5時
(入館は4時30分まで)

— 休館日 —
毎週月曜日
(月曜日が祝・休日の場合はその翌平日)

年末年始
(12月29日～1月3日)

— 交 通 —
高岡駅から徒歩約15分

— 入館無料 —